JIS Draft Template 2023

操作マニュアル(基本編)

2024年7月

一般財団法人 日本規格協会

Copyright (C) Japanese Standards Association, 2024

第1章 初期設定1
1 PC 環境1
2 インストール方法
3 起動方法~マクロの認証
4 JDT2023 のファイルメニュー・リボン
第2章 原案作成操作
1 新規に規格類を作成する
 2 筒条・細分筒条
3 用語及び定義 22
4 細別
至 滿切小
5 返詞
6 序文~週用範囲, 51用規格について
7 目次の作成
8 保存
第3章 附属書
第4章 表紙,解説・索引の作成方法
1 表紙の作成方法
2 解説の作成方法
3 の索引作成方法
第5章 注意・その他
1 注意事項 41
9 アンインストール方法 42
2 / · · · / / / / / / / / / / / / / / /
$3 \text{ word} \forall \nabla \nabla \mathcal{L} = \{1, 2, 3, 5, 5, 5, 5, 5, 5, 5, 5, 5, 5, 5, 5, 5,$
4 人者ノアイル内のイメーン(図)の上緒について

目 次

(1)

はじめに

<JDT2023 の概要>

JIS Draft Template 2023 (JDT2023)は、JIS、JIS 追補、TS、TR などの原案を作成するための Word のテ ンプレートです。Word のリボンに、JDT2023 独自の機能を盛り込んでいます。このリボンを使用して、 スタイル設定・定型文入力などを行うことによって、JIS Z 8301:2019 の様式にのっとった原案を作成す ることができます。

JDT2023の機能として,次に挙げるものがあります。

- 目次,本体,附属書のレイアウトの統一及び本体のレイアウト(項目名,箇条書き,例,注, 注記 など)の統一
- 新規規格類作成の際に,必要な項目をダイアログで入力することにより,原案の種類に応じた, まえがき,本体で定義されている定形文の自動生成をサポート
- ダイアログによって、引用規格、対応国際規格のスタイル設定をサポート
- ひな形(対比表,用語,用語索引)の取込をサポート
- 作成された原案の用字・用語のチェックをサポート
- JIS Z 8301:2019の様式に合わせた目次の自動生成をサポート
- 本体の様式と統一された表紙,解説,索引の作成をサポート
- 申出に必要な書誌情報の設定・抽出をサポート

<JDT2017, JDT2018 と JDT2023 との違い>

JDT2023 は 2019 年に改正された JIS Z 8301:2019 に対応しています。特に JDT2017 及び JDT2018 との 違いは様式が異なっています。その為, JDT2018 以前の JDT ツールで作成されている規格票を JDT2023 で開く事ができません。その場合は旧の様式から新しい様式に変換する必要があります。JDT2018 以前 の様式のまま規格票を編集される場合は JDT2017 及び JDT2018 を利用してください。

また, JDT2017 及び JDT2018 同様に Word 2007 以降の新しい文書形式 『Word 文書 (*.docx)』でのみ文 書が保存されます。

『Word 文書 (*.docx)』での保存することにより,文書内のイメージ(図)の扱いに注意が必要です。 詳細については『第7章 注意・その他』-『4 文書ファイル内のイメージ(図)の圧縮について』を参 照してください。

JDT2023 の動作環境

JDT2023 は, OS が Windows 7, Windows 8.1, Windows 10, Windows11 で, Microsoft Word 2010, 2013, 2016, 2021 及び 365 での PC 環境において, 原案作成などに利用できます。

<JDT2023 の機能変更内容>

JDT2017 までは, Microsoft Office 製品に組み込まれている「数式エディター(3.0)」を利用して数式を 編集できるように制御していましたが, この「数式エディター(3.0)」に対しセキュリティの脆弱性の問 題が確認されました。

この事より JDT2018 と同様に JDT2023 では数式を編集する機能として数式エディター(3.0)の起動を廃止 し、Office2007 以降に機能提供されている新しい数式エディターを利用するように変更いたしました。

数式の編集方法は今までと変わりません。(リファレンスマニュアル『4.2.4 数式』参照) ご利用頂いている環境で既に数式エディター(3.0)が削除され JDT ツールでの数式が編集できない旨の報 告も受けています。数式エディター(3.0)の詳細につきましては Microsoft のホームページを参照してくだ

さい。

また, JDT2023 では平成 28 年度まで使用していました Word97-2003 文書形式の.doc ファイルと互換性を 保つことのできる Word 文書.docx ファイル(互換モードタイプ)で文書を作成するように制御していま したが,新しい数式エディターを利用する場合, Word97–2003 の互換モードタイプを解除する必要があ ります。

互換モードの解除方法はリファレンスマニュアル『第8章 [互換モード]の解除方法』を参照し,文書毎 に文書内容の確認を行い互換モードの解除を行ってください。

※互換モードを解除する事で文書のレイアウトが崩れる事もあり,JDT2023 では自動で互換モードを解除する機能は組み込んでおりません。

<マニュアルについて>

JDT2023 には,様式の整った原案を作成するために必要な様々なツールが用意されています。この「操作マニュアル(基本編)」では,JISC の電子申請に必要な書誌情報を抽出するためのスタイルの設定方法,その他,原案作成に必要な基本的な操作方法を記載しています。

より細かい書式の設定方法は応用編をご参照ください。

また, JDT2023(一般モード)の個々の機能の説明は, JDT2023 から表示できる「リファレンスマニ アル」をご参照ください。 注記 リファレンス・マニュアルの表示方法 JDT2023 を起動する→ファイルメニュー→[操作マニュアル(JDT)] ※このマニュアルで示す操作画面は,Word2016 のものです。



第1章 初期設定

1 PC 環境

Microsoft Windows 7, Windows 8.1, Windows 10, Windows 11 全て 32, 64bit に対応しています。各 OS の推奨スペック等につきましては Microsoft のホームページを参照してください。

1024×768 ドット以下の解像度では、メニューなどの一部が欠け正しく表示されない場合があります。 1024×768 ドット以上でご使用ください。

JDT2023 は、Windows 版の Microsoft Word 2010, 2013, 2016, 2021365 の上で動作します。よって、 いずれかのバージョンの Word が必要になります。此方も 32, 64bit に対応しています。

インストールに必要な容量は約 15MB です。十分な空き容量のある HDD にインストールしてください。

* Windows, Word とも、日本語版のみ使用可能です。Mac 版には対応していません。

<付加条件>

- a) Word に機能を追加するアプリケーションソフトをインストールしていない。
 - 注記 OCR や翻訳ソフトなどがインストールされた環境下では JDT とそれらソフトの双方共に正 常動作しないことがあります。

2 インストール方法

 インストーラ「JDT2023.exe」 をダブルクリックしてください。インストールプログラムが実行され、7-zipの展開 (Extract)画面が表示されます。

※Administrator 権限でログオン してください。

 「ユーザーアカウント制御」の メッセージが出る場合、管理 者にご相談ください。

展開先(extract to)は、C:¥JDT となっていますが、他の場所 でもかまいません。「Extract」 ボタンで展開されます。

TDI 🧧			+					
$\leftrightarrow \rightarrow$	↑ C		> PC	> ローカ	ル ディスク (0	C:) >	JDT 3	>
➔ 新規作成	&	(D	6	Ø	0	↑↓ 並べ	替え ~	□ 表示
		4		S				_
▲ ブスシ <i>テ</i>	W		JD 202	T 23	#	=		
I F≠1 ≠	1221	-אק	JDT202	3.exe	JDT2019.	exe	1221-	5202406
圆 規格 ♪	J	.docx						
בבק 👩	I							
* L¥ 🔀								
🖬 7-Zip sel	f-extracting	archive				×		
Extract to:								
CANDIN								
		I'C	Extract		Cancel			
			and the second					
の不明な発行 Dえることを許す 019setup.exe 行売 不明 アイルの入手先 この ##を表示 約5するには、管理者	元からのアプリ 可しますか? コンビューター上のハー のユーザー名とバスの	」がデバイス -ドドライブ ドを入力してく	× に変更を ださい。					
20不明な発行 加えることを許可 019setup.exe 総行売不明 17/10の入手先この 12005年に 総行するには、管理者 ユーデー名 /(スワード メイン: NET はい	元からのアブリ Jしますか? コンピューター上のハー のユーザー名とバスク)がデバイス -FF547 Fを入力してく 	× に変更を だ ^{さい} 。					
の不明な発行 Dスることを許可 019setup.exe 近元不明 21/00入手先この 編を表示 515するには、管理者 コーサー名 パスワード メイン: NET はい 展開先	元からのアブリ Jしますか? のユーザーキとバスの (デフオ	1がデバイス1 ドドライフ ドを入力してく 	× に変更を ださい。 ごは C:3	ZJDT¥	JDT2	023)	に必	要なス
の不明な発行 ロスることを許可 019setup.exe 5行売不明 アイルの入手先この 運を表示 1-ザー名 (Cスワード メイン: NET はい 展開先 展開 た オ	元からのアブリ JUますか? ロンビューター上のハー のユーザー名とバスル (デフオ していま	1がデバイス1 -Fドライフ Fを入力してく しいいえ ルトて す。	× に変更を だきい。	JDT¥	JDT2	023)	に必	要なプ
の不明な発行 DI 3 SE 2 SE	元からのアブリ TLますか? Dンビューター上のハー のユーザー名とバスら (デフオ していま ブラム(ドドライブ トドを入力してく レレトで す。 JDT2	× に変更を ださい。 では C:¥ 023.exe	≨JDT¥ ≫) のミ	≤JDT2(∕ ∃ — })2 3) 、カッ	に必	要な ブ
の不明な発行 Qスることを許可 O19setup.exe HT元 不明 P7/hの入手先 20 HE するには、管理者 ユーザー名 /(スワード メイン: NET ほい 展開 告 オ 行 プ ロ 2 に設置する	元からのアナリ TLますか? コンドコーター上のハー のユーザー名とバス? (デフオ いていま ブラム(トること	レトマ 「JDT2 をお箱	× に変更を ださい。 では C:3 023.exe 力めしま	€JDT¥ ら)のミ ∵す。	≤JDT2(✓ = ← })23) ヽカッ	に必	要な プ
の不明な発行 のスることを許可 019setup.exe 総行元の入手先この 1編を表示 1編でするには、管理書 ユーテー名 パスワード メイン、NET ロレ この 正しくイ	元からのアブリ TLますか? Dンピューター上のハー のユーザー &とバスパ (デフオ いていま ブラム(トること インスト	レトマ ・ドドライブ ・ドドライブ ・ドを入力してく す。 「JDT2 をお番 ールす	× に変更を ださい。 では C:4 023.exe 力めしま	(JDT) ()のジョー・	€JDT2(/ョート)23) 、カッ 合は JS	に 必 SAに	要 デ お
O Turner Constant Service Constant Serv	元からのアナリ コンピューター上のハー のユーザーモビバスワ (デ て い ム (ブ フ ふ (ブ フ ふ 人 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	レント ボドライブ レトドを入りしてく レレトで す。 「JDT2 をお着 ールす いいたし	× に変更を ださい。 では C:1 の23.exe 力めしま トる事が します。	JDT)の す。 ぶできた	SJDT2(/ョート)23) 、カッ 計はJS	に v ト を SA に	要 デ お
の不明な発行 の なることを許可 019setup.exe eff: が たの入手 eff: たの入 たの たの たの たの たの たの たの たの たの たの	元からのアブリ DUますか? のユーサーキとパスワ (デフオ ンフォま(と インスト) ンズコーター上のハー	トドライブ トドミノカルマイ レトドミスカルマイ マート「 イントママ イントママ イントママ イントママ イントママ イントママ イントママ イントママ イントママ イントママ イントママ イントママ イントママ イントママ イントママ イントママ イントマー イントションク イントマー イン イントマー イン イントマー イン イントマー イン イン イン イン イン イン イン イン イン イン イン イン イン	× に変更を ごは C: の23.exe 力めしま トる事が っます。	ミJDT シ)のシ す。 ぶできた	zJDT2(✓ョート cい場合)23) 、カッ ☆はJ	に必 ・トを SAに	要 デ お
の不明な発行 の なることを許す 019setup.exe Eff. 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5	元からのアナリ DLますか? のユーザー&とパスワ (デマい イ マテム (デマンスト うお願い 合わせ≫	ルトマ イントマ	× ^{大さい。} ごは C: 1 023.exe 力めしま トる事が します。	JDT)の う できた	zJDT20 /ョート よい場合)23) 、カッ 合は J:	に必 ・トを SAに	要 デ お
の不明な発音で 019setup.exe P7/1025 P7/1025 R 展 日 C(37)-F X72: NET ロレ 日 ロ 日 </td <td>元からのアナリ DULますか? DUL-サーキレバスワ のユーザーキレバスワ (Tてラるこス願い すわ法人『</td> <td>ルトマ ・Fドライブ ・F ・F を入力してて ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td> <td>× に変更を ださい。 では C:3 の23.exe 力めしま トる事が っます。 格協会</td> <td>AJDT¥ A) のS ゴす。 ぶできた</td> <td>SJDT2(✓ヨート Cい場合</td> <td>)23) 、カッ 計は JS</td> <td>に - トを - SA に</td> <td>要 デ お</td>	元からのアナリ DULますか? DUL-サーキレバスワ のユーザーキレバスワ (Tてラるこス願い すわ法人『	ルトマ ・Fドライブ ・F ・F を入力してて ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	× に変更を ださい。 では C:3 の23.exe 力めしま トる事が っます。 格協会	AJDT¥ A) のS ゴす。 ぶできた	SJDT2(✓ヨート Cい場合)23) 、カッ 計は JS	に - トを - SA に	要 デ お
の不明な発音で 019setup.exe いたちますの 019setup.exe いたちますの いたちますの いたちますの ロープー名 パスワード メイン・NET はい 田開開プ設しくます 日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	元からのアフリ DDビューター上のハー のユーサーキとバスジ (フマンムこ) フンビューター上のハー のユーサーキとバスジ フマンム フンンンンンンンン フマンム フンンンション ファビューター上のハー のユーサーキとバスジ ファビューター上のハー	IがデバイスI FF547 ルトです。 JDT2 をお和 マレトで す。 JDT2 をお和 マレトで コールすし コスク	× に変更を ださい。 ごは C: 1 023.exe 力めしま トる事が います。 格協会	EJDT A) のシ す。 ぶできた	zJDT2(✓ヨート ζい場合)23) 、カッ 合は JS	に 必 SA に	要 デ お

3 起動方法~マクロの認証

起動は、次の手順によります。

a) 起動

デスクトップ上に作成した JDT2023 のショートカット (またはインストーラしたフ オルダ上のファイル)を選択 実行します。



※「スマートカードを挿入してください。」とメッセージが表示された場合

- 初期起動時は、オプション 設定がされていないため、画 面上にメッセージが表示され ます
- 次ページのファイルメニュ ーのテンプレート機能が動作 しない場合を参考に、オプシ ョンの設定を行ってください。



※ファイルメニューのテンプレート機能が動作しない場合

 Word を起動し、ファイルメ ニューから「オプション」を 選択してください。

- (← 作成及び開く (JDT) 🛃 名前を付けて 保存 - 上書き保存 📁 閉じる 編集オプション (JDT) 環境設定 (JDT) 操作マニュアル (JDT) バージョン情報 (JDT) オプション 終了
- 「Wordのオプション」画面 が表示されます。トラスト セ ンターの[トラスト センター の設定]ボタンを押下してく ださい。



6

- 3) 「セキュリティセンター」 画面が表示されます。マクロ の設定の [デジタル署名され たマクロを除き, すべてのマ クロを無効にする]を選択し てください。
- 4) 信頼できる場所の [新しい 場所の追加] ボタンを押下し てください。

セキュリティセンター

供給行合為無行力

価格できる場所

信頼沿みドキ15C/

信頼できるアドインカタログ 2PD

信頼できる場所

152

5) 「Microsoft Office の信頼 できる場所」画面が表示され ます。パスにインストール先 フォルダを設定し、この場所 のサブフォルダも信頼するに チェックし, [OK] ボタンを押 下してください。





警告:これらの場所はすべて、ファイルを聞くのこが全な場所であると見なされます。場所を発見または追加する場合は、その場所が安全であることを発現し てください。

説明

7 X

更新日 ▼

2023/01/31 16:17

JDT2023(基本編)

	セキュリティ センター	× ۲
6) [OK] ボタンを押下してく ださい。	価格である況に元 位期できる場所 何期(あかドネユジント 価格(さかドイン 力かび) アドイン ActiveX の設定 マクロの設定 保護ニュー シャークラ バー ファイル和明確(Kron)で走 プライバシー オプシャン	構成できる場所 型き: 2019の境所は多へて、ファイルを抱くのに安全な場所であると危なされます。場所を見見または出まする場合は、その境所が安全であることを規定してひなん。 パズ 当 1.47 日前の時間 1.47 日前の日本 1.47 日前の中本 1.47 日前の中本 1.47 日前の日本 1.48
 7) [OK] ボタンを押下して ください。 8) Word を終了してください。 	Word のオブシェン 日本日知主 東京 東京 文字科教 国語 11年30日 11年30日 11年30日 11年30日 11年30日 11年30日 11年30日 11日 11日	

1

4 JDT2023 のファイルメニュー・リボン

JDT2023 は, 原案作成の操作性を向上させるため, Word のファイルメニュー・リボンをカスタマイズし, JDT2023 専用の機能の追加を行っています。

ファイル	★JDT ホーム		ホーム 損	i入 デザイン		レイアウト	差し込み文書	校開	表	演 ♀ 演	テしたい作業をフ	く力してください	
強調	+ Times New	1-	序文の挿入	3.3.3 • • •		用語及び定義	- 側線 -		⊠*	箇条変換	文書構成 *	引用/参考文献/対応国際規格 * fig	7-
I <u>U</u> (ș	点線) x² x, 🔌	8	1000	4.4.4.4000		□段落	注記·注·例·	注釈・	表▼	細別変換	ひな形文書・	定型文挿入 -	
10 -	強調 強調解除		2.2000	5.5.5.5.6		細別符号。	数式 *			下線/側線、	「引用規格▼	レイアウト調整用	
Ż	て字スタイル	15	茵余	の見出し	15	茵	条の内容	5	図表「ふ			その他	15



第2章 原案作成操作

1 新規に規格類を作成する

ここでは、改正の JIS 原案を新規作成する場合を例に、操作方法を解説します。 なお、以降に示すケース以外の条件の操作は、"リファレンスマニュアル"を参照してください。

a) 新規規格類作成

[ファイルメニュー]→[作成及 び開く]→[新規規格類作成]よ り作成する規格票の種類を選 択します。

※ここでは、日本産業規格(JIS) の作成方法を紹介いたします。 その他の文書も、以下の方法 に準じてください。

c) 書誌情報

JIS 原案ファイルを<u>電子申請</u> する時には,この項以降で入 力した内容がファイルの抽出 条件の必須事項(書誌情報) になります。

[次へ]を選択

${ \ }$		新規規格類作成 日本産業規格 (JIS)
作成及び開く		追補
(TDL)		標準仕様書 (TS)
	-	標準報告書 (TR)

書誌情報 (JIS)	×
JIS XI XXXX	
規格名称(日本語)	
ここに規格名称を人力して下さい 	
規格名称(英語)	
Input Title here	
·	
キャンセル 次へ	. »

<規格番号>

左側のテキストボックスに"部門"(A~Z),右のテキストボッ クスに"規格番号"を入力してください。

<規格名称(日本語·英語)>

"規格の名称"を入力してください。

d) 定型情報
 規格票に展開するまえがきの
 定型文と本文の定型文の指示
 を行い[文章への反映]を選択

e) 文書への反映

ここまでの内容に誤りがなけ れば,[文章への反映]を選択 します。すると,目次・まえ がき・本体の文書が作成され ます。 同時に,まえがきと,本体の

序文/1 適用範囲/2 引用規 格/3 用語及び定義に定形文 が展開されます。

※[戻る]ボタンを押した場合,

d) の"定型情報"ダイアログ
 で入力した内容を保持した状
 態で c) の"書誌情報"に戻
 ります。

※[キャンセル]ボタンを押した 場合, d) の "定型情報" ダイ アログで入力した内容を破棄 した上で, c) の "書誌情報" に戻ります。

まえがき 制定/CQ正	
 「制定 (* 仅止) 制定 (* 仅止) 制定 (* 20上) 1(未業件(固要表記によって作成する規格) (* 1(未業件(認定産業/理学作成/把関が作成する規格)) (* 1(未業件(認定産業/理学作成/把関が作成する規格)) (* 1(未業件(認定産業/理学作成/把関が主法大臣の命によって作成する規格)) (* 団(作規格を基)にしている 	 ▲ Ancumentation ● IDT(現してしら) ■ Mitgle#考入力 ● MOD(将正している) ● MEO(同等でない。) ● MEO(同等でない。) ● MEO(同等でない。) ● MEO(同等でない。)
「	◎ 用語及び定義あり
廃止用除番号 □ 複鉄機像のうち1件が改正され、その他が廃止になる場合(改正) ☑ 特許権など□関する表記	
 ● 特許権などの存在が確認されない場合 ○ 特許権などの存在が14以上認められる場合 □ 部構成あり ■ 部構成管理 	

まえがき定型文指示

<制定/改正>(必須)



<制定/改正の経緯>(必須)

- 制定/改正の経緯 © 11条案件(国費委託によって作成する規格)
 12条案件(認定産業標準機関を除く団体が作成する規格)
○ 14条案件(認定産業標準作成機関が作成する規格)
○ 15条案件(認定産業標準作成機関が主務大臣の命によって作成する規格)
□ 団体規格を基にしている

<規格の統合または分割を行う場合>(任意)

制定を選択した場合のみ選択可能になります。

•	規格の統合又は分割を行う場合(制定)
	● 1件の規格が複数の規格に分割される場合
	廃止規格番号 (例)JIS W 9999:0000
	○ 複数の規格が1件の規格に統合される場合
	廃止規格番号

<複数の規格のうち1件が改正されその他が廃止>(任意)

改正を選択した場合のみ選択可能になります。

□ 複数規格のうち1件が改正され、その他が廃止になる場合(改正)

<特許権などに関する表記>(必須)

- ☑ 特許権などに関する表記
 - 特許権などの存在が確認されない場合
 - 特許権などの存在が1件以上認められる場合

<部編成あり> (任意) 部編成管理 ▶ 部編成あり 作成する規格が部編成(パート制)のうちの1規格である場合, "部編成あり"を選択します。[部編成管理]ボタンがピンク色の 表示になります。 <部編成管理> 部編成管理 × 一部編成 JIS X XXXX 第一部第一節 部編成 規格名称(日本語) ここに規格名称を入力して下さい クリア iem TE ANA * OK 40/21 部編成のリストを作成し、[OK]を押して"定型情報"ダイアロ グに戻ります。

本文定型文指示

序文~適用範囲,引用規格,用語及び定義の定型文に対する指示 入力となります。

<対応国際規格あり>(任意)

JIS に対応する国際規格がある場合にチェックを入れ、さらに、 対応の程度を選択します。

☑ 対応国際規格あり	
● IDT(一致している)	国際規格番号入力
○ MOD(修正している)	言羊糸田
NEQ(同等でない)	

IDT:対応国際規格を純粋に日本語化したもので,技術的内容だ けでなく,構成にも全く変更を加えないもの。

MOD:対応国際規格の一部を追加,変更,修正又は削除する,あ るいは,複数の対応する国際規格を一つにまとめるなどす るもの。

NEQ: 同様の規定項目はあるが, 全く一致せず, MOD とするこ とも不可能なもの。

(NEQ は推奨されませんので,特に認められた場合以外選択しないでください。)

<国際規格番号入力>

団体略称 ISO 👻	- 追捕(Amd / Cor	>			1
番号 000000 西暦 9999 年 第 1 版	● 指示なし ● Amd. ● Cor.	「Amendment I 西暦 年 「Corrigendum 1 西暦 年	E Amendi 西暦 Comiee 西暦	nent 2 年 ndum 2 年	
規格名称 Input Title here					<u></u>
<u>追加 买更 </u> <u> </u>					×

国際規格番号のリストを作成し、[OK]を押して"定型情報"ダ イアログに戻ります。

<詳細>
IDT の場合
対応国際規格の詳細 (IDT) ×
○ 対応国際規格にはない参考事項を追加
☞ 完全に一致している場合
□ 追捕を含めた場合
OK
MOD の場合
対応国際境格の詳細 (MOD) ×
○ 対応国際規格に対応する部分は技術的内容を変更していないが、対応国際規格にない規定項目を追加した場合 ○ 対応国際規格を基礎としているが、JIS独自の箇条の追加及び一部の変更をした場合
OK
▼引用規格あり 51用規格入力
選択指示されて無い場合でも,引用規格が無い旨の定型文が展開 されます。 <引用規格入カ>
7) 田田松 3 小
207
iBto A.E AVA
OK
引用規格のリストを作成し, [OK]を押して"定型情報"ダイア
ロソに戻りより。

1.1 サブ画面の入力方法

- ※サブ画面より複数の情報を入 力する画面の操作方法を「国 際規格番号入力」画面を例に 説明します。
- ①ISO, IEC などの団体略称を選 択します。直接入力も可能で す。("FDIS" などの記載もこ こに行います。)
- ②番号 規格番号を入力します。
- ③西暦 西暦年を西暦で入力し ます。
- ④第□版 版数を入力します。※該当のない項目は入力せず空

欄としてください。

- ⑤[追加]ボタンを押し、リスト ボックスに加えます。
- ※このとき、[追加]ボタンを押 さずに[OK]を選択すると入 力内容は失われます。

<u>リストボックスの中の規格を変</u> <u>更する場合</u>

リストボックス中の規格をクリ ックすると各項目のボックスが 選択した規格の内容になります。 必要な項目の修正が終わったら, [変更]ボタンを押します。

<u>リストボックスの中の規格を削</u> 除する場合

規格を選択,反転表示し,[削除] ボタンを押します。

入力が終了したら[OK]ボタン を押し、"定型情報"ダイアログ へ戻ります。 ボタンが灰色の表示となります。



対応国際規格が複数ある場合は、①~⑤の手順を繰り返します。

番号 17025 西暦 2005 年 第 1 版 #And. C And. C Cor. 西暦 年 西暦 年 (変更]から[追加] へ戻りたい場合 は、[クリア]を押 してください。 のが の (変更) から[追加]	団体略称	ISO 🔹	追捕(Amd / Cor) ———		
規格名称 General requirements for the competence of testing and してください。 追加 変更 削除 150/FDIS 22000:2005 1 Food sattey management system A	番号 西暦 第	17025 2005 年 1 版	 福示なし C Amd. C Cor. 	C Amendment 西暦 Corrigenc 西暦	4 西暦 [変更]から[追加 へ戻りたい場	12 年 미 合
- 19月 17月25-20月5-1 ほうちんどちし どうかけしどうからちまつ まうど まちろ ううかりろう うま まうごましかが ちちが うちげ うとうましつろ しち	規格名称 這加 3 1S0/FDIS	General requiremen E更 削除 22000:2005 1 Food	its for the competenc	a of testing and	してください。	<u>></u>

リストボックスの中の規格の順番を変更する場合

規格を選択,反転表示し,右側の上下ボタンを押すことで順序の変 更が可能です。

※[OK]ボタンを押さずに[×]または[キャンセル]でダイアログを閉 じると,変更・削除した内容が反映されません。

1.2 展開される定型文について

※まえがき及び本文の記載例は
 JIS Z 8301:2019「附属書 E (参考) まえがき及び序文の記載
 例等」及び"JIS 原案作成のための手引"を参照してください。

くまえがき>

制定/改正の経緯は JDT2018 以前の 11 条案件及び 12 条案件に加え, 新たに 14 条案件, 15 条案件を指示する事が可能となっています。

─ 制定/改正の経緯 ────────────────────────────────────
 12条案件(認定産業標準機関を除く団体が作成する規格)
○ 14条案件(認定産業標準作成機関が作成する規格)
○ 15条案件(認定産業標準作成機関が主務大臣の命によって作成する規格)
□ 団体規格を基にしている
※12 条案件, 14 条案件の場合, 画面で「団体規格を基にしている」
にチェックを入れる事により展開される定型文の内容の一部が変
ります。
この規格は,産業標準化法第16条において準用する同法第12条第1項の規定に基づき,原案作成団体 名(団体略称)から団体規格(団体規格番号:0000)を基に作成した産業標準原案を添えて日本産業規格 を改正すべきとの申出があり,日本産業標準調査会の審議を経て,主務大臣名大臣が改正した日本産業規 格である。これによって,JS:X:XXX:0000 は改正され,この規格に置き換えられ,また,JJS:X: XXXX:0000 及びJJS:X:XXXX:0000 は廃止され,この規格に置き換えられた。+
この規格は,著作権法で保護対象となっている著作物である。+
この規格の一部が,特許権,出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意 を喚起する。主務大臣名大臣及び日本産業標準調査会は,このような特許権,出願公開後の特許出願及び 実用新案権に関わる確認について,責任はもたない。↩
JIS·X·XXXX 規格群には,次に示す部編成がある。↩
JIS X XXXX-5 ここに規格名称を入力して下さい↓
JIS-X-XXXX-7-1・ここに規格名称を入力して下さい。
JIS-X-XXXX-7-2・ここに規格名称を入力して下さい↔
1制定/改正の経緯に関する定型文

2著作権に関する定型文

③部編成に関する定型文

※展開された定型文の青字の部分は適宜変更してください。

<本文> 序文は対応国際規格ありの場合のみ展開されます。1 適用範囲,2 引 用規格,3用語及び定義は必ず展開されます。 1→適用範囲↩ ų. 2 → 引用規格↩ この規格には,引用規格はない。+ ÷ 3→用語及び定義↩ この規格で用いる主な用語及び定義は,次による。↩ くこの規格で用いる主な用語及び定義は、JIS·X·XXXX による。↓ (1)この規格で用いる主な用語及び定義は,次によるほか,<mark>JIS·X·XXXX</mark> による。↩ 【3つの定型文が展開されていますので不要な定型文を削除してください。】→ ①用語及び定義ありと指示された場合,3つの定型文が展開されま すので青字で記載されている通り不要な定型文を削除してくださ い。 ※展開された定型文の青字の部分は適宜変更してください。

~

1.3 定型文の変更方法について

JDT2023 では定型文を変更する方法として2通りの方法があります。以下の様な利用方法を想定しています。

・定型情報変更(JDT2018以前より提供している機能)

一度に、まえがき、本文(序文、適用範囲、引用規格、用語及び定義)全ての定型文を変更する場合。

・定型文挿入(JDT2019 で追加された機能)

変更が必要となった部分のみ個別で定型文を変更する場合。

「定型情報変更」,「定型文挿入」共に新規規格票の作成と同様に「定型情報」画面が表示され展開す る定型情報の指示入力を行う事で定型文が展開されます。

※大きな違いとしては規格票全体の定型文を変更が必要となった場合、「定型情報変更」を利用して頂き、 部分的に定型文を変更される場合は「定型文挿入」を利用する事で展開された定型文の内容を見直す 範囲が変ります。また、「定型文挿入」は既存の文書に対し定型文を挿入するのみです。

(「定型情報変更」の様に既存の定型文の文字色(緑)を変えて残す処理は行っていません。)

-

定型情報変更

制定了放下	本文
で制定 で改正	厂 対応国際規格あり
制定/改正の経緯	● D1(-20_(1)(5) ■ EIRAFIS書き入力
「「未来件(固定会記しよう(「抑なする場合)」 (1)たちは(初定会常得消費用た除(同体的代表)もない。)	C MOD(修正している) 詳細
○ 148案件(辺定産業構造性成準調解性成する損格)	C NEODER TAL 0
○ 15条案件(認定産業標準作成機関が主務大臣の命によって作成する規格)	
厂 団体規格を基にしている	「引用規格あり」 引用規格入力
「現格の統合又は分割を行う構造(制定)	▶ 用語及び定義あり
C 1件の規模が規制の規格に分割時料も場合 廃止規格番号	
C 接動の規格が14の規格に統合される場合 廃止規格委員	-
- 〒 接動規格のうち1件が改正され、その他が廃止になる場合 (改正) ☞ 特許権などに関する表記	
 ・特許権などの存在が継続されない場合 ○特許権などの存在が1件以上認められる場合 	
「 部編成54」 創業の計理	
「定型情報」画面より,まえがき, より規格票に定型文が展開される	本文の定型文を指示する事
「定型情報」画面より,まえがき, より規格票に定型文が展開される の規格は,産業標準化法第16条において準用する同法 (回体略称)から,産業標準原案を添えて日本産業規格 会の審議を経て,主務大臣名大臣が改正した日本産業規格	本文の定型文を指示する事(第12条第1項の規定に基づき,原案作成回体 を改正すべきとの申出があり,日本産業標準調 客である。これによって,JIS:X:XXX:0000
「定型情報」画面より,まえがき, より規格票に定型文が展開される の規格は,産業標準化法第16条において準用する同法 (回体略称)から,産業標準原案を添えて日本産業規格 会の審議を経て,主務大臣名大臣が改正した日本産業規格 改正され,この規格に置き換えられた。+	本文の定型文を指示する事(第12条第1項の規定に基づき,原案作成回体 を改正すべきとの申出があり,日本産業標準調 客である。これによって,JIS:X:XXX:0000
「定型情報」画面より,まえがき, より規格票に定型文が展開される の規格は,産業標準化法第16条において準用する同法 (回体略称)から,産業標準原案を添えて日本産業規格 会の審議を経て,主務大臣名大臣が改正した日本産業規格 改正され,この規格に置き換えられた。+ この規格は,著作権法で保護対象となっている著作物でお	本文の定型文を指示する事(第12条第1項の規定に基づき,原案作成団体 を改正すべきとの申出があり,日本産業標準調 客である。これによって,JIS-X-XXXX:0000
「定型情報」画面より,まえがき, より規格票に定型文が展開される の規格は,産業標準化法第16条において準用する同法 (回体略称)から,産業標準原案を添えて日本産業規格 なの審議を経て,主務大臣名大臣が改正した日本産業規格 改正され,この規格に置き換えられた。+ この規格は,著作権法で保護対象となっている著作物でお この規格の一部が,特許権,出願公開後の特許出願又は 換起する。主務大臣名大臣及び日本産業標準調査会は、 目析案権に関わる確認について,責任はもたない。+	本文の定型文を指示する事(第12条第1項の規定に基づき,原業作成団体 を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調 客である。これによって、JIS・X-XXXX:0000 ある。+ 尾用新案権に抵験する可能性があることに注意 このような特許権,出願公開後の特許出願及び
「定型情報」画面より,まえがき, より規格票に定型文が展開される の規格は,産業標準化法第16条において準用する同法 (団体略称)から,産業標準原案を添えて日本産業規格 含の審議を経て,主務大臣名大臣が改正した日本産業規格 改正され,この規格に置き換えられた。+ この規格は,著作権法で保護対象となっている著作物でお この規格の一部が,特許権,出類公開後の特許出願又は認 負起する。主務大臣名大臣及び日本産業標準調査会は、 目所案権に関わる確認について,責任はもたない。+	本文の定型文を指示する事(第12条第1項の規定に基づき,原案作成回体 を改正すべきとの申出があり,日本産業標準調 客である。これによって,JIS:X:XXXX:0000 ある。+ 案用新案権に抵験する可能性があることに注意 このような特許権,出願公開後の特許出願及び
「定型情報」画面より、まえがき、 より規格票に定型文が展開される の規格は、産業標準化法第16条において準用する同法 (回体略称)から、産業標準原案を添えて日本産業規格 なの審議を経て、主務大臣名大臣が改正した日本産業規格 改正され、この規格に置き換えられた。+ この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物でお この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は5 換起する。主務大臣名大臣及び日本産業標準調査会は、5 目析案権に関わる確認について、責任はもたない。+ の規格は、産業標準化法第16条において準用する同法 (回体略称)から、産業標準原案を添えて日本産業規格 後の審議を経て、主張大臣名大臣が改正した日本産業規格	本文の定型文を指示する事(第12条第1項の規定に基づき,原業作成団体 を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調 客である。これによって、JIS・X-XXXX:0000 ある。+ 尾用新業権に抵験する可能性があることに注意 このような特許権,出願公開後の特許出願及び 第12条第1項の規定に基づき,原業作成団体 を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調 客である。これによって、JIS・X-XXXX:0000
「定型情報」画面より、まえがき、 より規格票に定型文が展開される の規格は、産業標準化法第16条において準用する同法 (回体略称)から、産業標準原案を添えて日本産業規格 な面容議を経て、主務大臣名大臣が改正した日本産業規格 改正され、この規格に置き換えられた。+ この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物でお この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は 資色起する。主務大臣名大臣及び日本産業標準調査会は、 同所案権に関わる確認について、責任はもたない。+ の規格は、産業標準化法第16条において準用する同法 (回体略称)から、産業標準原業を添えて日本産業規格 金の審議を経て、主義大臣名大臣が改正した日本産業規格 の審議を経て、主義大臣名大臣が改正した日本産業規格	本文の定型文を指示する事(第12条第1項の規定に基づき,原業作成団体 を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調 者である。これによって、JIS・X-XXXX:0000 ある。+ 尾用新案権に抵験する可能性があることに注意 このような特許権、出願公開後の特許出願及び 第12条第1項の規定に基づき、原業作成団体 を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調 者である。これによって、JIS X XXXX 0000

(定型文以外の追記されてい る内容も含まれています。) 定型文挿入

・まえがき

	彼正 定 で 改正	
│ 制定/ │ ○ 11条	役正の経緯 案件(国曹季軒によって作成する規格)	
€ 12条	************************************	
〇 14条	案件(認定産業標準作成機関が作成する規格)	
〇 15条	案件(認定産業標準作成機関が主務大臣の命によって作成する規格)	
□ 団体	規格を基にしている	
□ 規格の	D統合又は分割を行う場合(制定)	
C 16	牛の規格が複数の規格に分割される場合	
	廃止規格番号	
○複	数の規格が1件の規格に統合される場合	
	廃止規格番号	
□ 複数規	見格のうち1件が改正され、その他が廃止になる場合 (改正)	{
🔽 特許権	権などに関する表記	
⊙特	許権などの存在が確認されない場合	~ >
〇特	許権などの存在が1件以上認められる場合	J
□ 部編5	式あり 部編成管理] }

①リボンの「まえがきの定型文」より起動された場合

「制定/改正」,「制定/改正の経緯」,「規格の統合又は分割を行う 場合(制定)」,「複数規格のうち1件が改正され,その他が廃止 になる場合(改正)」のみ画面項目が活性化され入力指示可能。 ①リボンの「著作権の定型文」より起動された場合

「特許権などに関する表記」のみ活性化され入力指示可能。 但し「特許権などに関する表記」のチェックを外すことは不可。 ①リボンの「部編成の定型文」より起動された場合

「部編成あり」のみ活性化され入力指示可能。

展開される定型文の内容は新規規格票作成,定型情報変更で展開さ れる定型情報と同じです。

この規格は,産業標準化法第16条において準用する同法第15条第1項の規定に基づき,主務大臣名大 臣の命によって認定産業標準作成機関である原案作成団体名(団体略称)から産業標準の案の提出があ り,主務大臣名大臣が改正した日本産業規格である。これによって,JIS·X·XXXX:0000は改正され,こ の規格に置き換えられた。↔

-====- 以下に挿入前の内容が残っていますので、不要な部分は削除してください。=====↓

※展開された定型文の青字の部分は適宜変更してください。

また,展開される定型文の最後の行に「===== 以下に挿入前の 内容が残っていますので,不要な部分は削除してください。 =====」の文字列が展開されますので,既存の文書内容を確認し 不要な部分を削除してください。 ・本文

定型情報	×
本文	
▼ 対応国際規格あり	h
○ IDT(一致している)	
 MOD(修正している) 詳細 	
C NEQ(同等でない)	J
<□ 引用規格あり 引用規格入力	}
🖌 🔽 用語及び定義あり	$\left(\right) \left(\left) \left(\right) \left(\right) \left(\right) \left(\right) \left(\right) \left(\left) \left(\right) \left(\right) \left(\right) \left(\right) \left(\left) \left(\right) \left(\right) \left(\right) \left(\left) \left(\right) \left(\left) \left(\right) \left(\right) \left(\right) \left(\left) \left(\right) \left(\left) \left(\right) \left(\right) \left(\left) \left(\right) \left(\left) \left(\right) \left(\right) \left(\left) \left(\right) \left(\left) \left(\right) \left(\left) \left(\right) \left(\left) \left(\left(\right) \left(\left(\right) \left(\left) \left(\left(\right) \left(\left(\right) \left(\left(\right) \left(\left(\left$
	_

リボンの「序文~適用範囲の定型文」より起動された場合
 「対応国際規格あり」のみ画面項目が活性化され入力指示可能。

②リボンの「引用規格の定型文」より起動された場合

「引用規格あり」のみ画面項目が活性化され入力指示可能。 ③リボンの「用語及び定義の定型文」より起動された場合 「用語及び定義あり」のみ画面項目が活性化され入力指示可能。

展開される定型文の内容は新規規格票作成,定型情報変更で展開される定型情報と同じです。

※展開された定型文の<u>青字の</u>部分は適宜変更してください。 また、展開される定型文の最後の行に「===== 以下に挿入前の 内容が残っていますので、不要な部分は削除してください。 =====」の文字列が展開されますので、既存の文書内容を確認し 不要な部分を削除してください。

2 箇条・細分箇条

この段階では、「新規規格類作成」の操作で定形文が挿入された文書が作成されています。ここに随時必要事項を追加していく形で入力を行います。なお、この操作を行うと、箇条・細分箇条を自動的に目次に抽出することができます(7 目次の作成 参照)。英数字は半角で入力してください。

a) 通常の箇条・細分箇条

箇条・序文の入力は、次の手順で行います。[細分箇条(1.1, 1.1.1 など)を作成する際も、基本的な操作は同じです。]

- 例)箇条 "4 一般原則" を作成 する場合
- 1) 箇条を発生させたい場所に カーソルを置き,リボンの[箇 条の見出し]→[1●●●]を選 択します。
- ※選択された箇条のレベルに合わせて項番形式の文字列とタブ文字が自動で展開されますタブ文字の次より箇条の文字を入力してください。 項番の数字は必ず手動で修正してください。







 箇条に続く文章は、「段落」 スタイルを設定します。
 箇条の最後で改行すると、次 の行は、「段落」スタイルとな ります。

「段落」スタイルを設定する 場合は,設定する場所にカー ソルを移動させ,リボンの[箇 条の内容]→[□段落]を選択し ます。

 ※入力の規則につきましては,
 "JIS Z 8301:2019(規格票の 様式及び作成方法)"及び"JIS 原案作成のための手引"を参 照してください。

ファイル	★JDT ホーム	ホ− ム	挿入	デザイン	レイアウト	差し込み文書	校開	表示	R Fox	it PDF	Q	実行	LIEUM
段落	- MS 明朝	* 序文	の挿入 3.3	3000	用語及び定	(義 - 側線 -		図*	菌条套换	文書	構成・	引用	用/参
I U (:	点龈) 🛪 🛪 🐓	104	. 4.4	4.4000	□段落	注記·注·例·	注釈・	表 -	細別変換	10	形文書	- 定	主文書
10 •	強調 強調解除	2.24		5.5.5	細別符号。	- 数式 -			下線/側的	泉。 引用	規格。	M	(70)
5	マ字スタイル	6	箇条の見:	40 G		箇条の内容	្នែ	図表 5				その他	3
6				0 4	2 22	4 0 8	10 12	14 10	18 20	22 2	24 26	28	30
-					0								
-					9								
-					3 -+ 月	語及び定義							
8						a det del ser entre a ser de		and a standards	en anticipation de la composición de la				
					- 0	07848 C.HIA. 今日	- / ₆ C (FF3 82	反び走到	263, 776	-9.00			
R					4								
-													
- 5													
-					4 -+	-般原理+							
R					4.1 →	一般的な条件。							
					→ ₩	般的な条件の内容	を記載	ł					
-									•••				

3 用語及び定義

用語及び定義の"用語番号","用語名称"の入力は、次の手順で行います。

- 例)定義"**3.1 容積基準質量含 水率**(moisture content mass by volume)"を作成する場合 で説明します。
- 用語番号を発生させたい場 所にカーソルを置き、リボン の[箇条の内容]→[用語及び定 義]→[用語(番号)]を選択し ます。

- カーソルが左端へ移動した
 ら,用語番号を"半角"で入 力します。
- ※入力した用語番号は"太字" になります。
- 用語番号の下にカーソルを 移動し、リボンの[箇条の内 容]→[用語及び定義]→[用語 (名称)]を選択します。
- カーソルが左端へ移動した ら、用語名称を入力します。
 ※入力した用語名称は"ゴシッ クの太字"になりますので記 載された「(moisture content mass by volume)」を選択し [強調解除]ボタンで強調箇所

を解除してください。







ファイル *JDT ホーム	ホーム 挿入 デザイン	レイアウト 差し込み文書 校課	間 表示 Foxit PDF (
 MSゴシック IU(点線) x°x、参 10 ・ 強調 強調解除 文字スタイル 	 序文の挿入 3.3.3・・ 1・・・・・ 4.4.4.4・・・ 2.2・・・・ 5.5.5.5・・・ 5. 箇条の見出し 5. 	用語及び定義 - 側線 - □段落 注記・注・例・注釈 - 細別符号 - 数式 - 箇条の内容 -	 図* 箇条変換 文書構成 表・細別変換 ひな形文書 下線/機線・引用規格 回表 6
21 1 20 1 1 20 1	5 4 3	 2 4 0 8 10 12 3 → 用語及び定義・ この規格で用いる主な用語 3.1* 	14 16 18 20 22 24 2 預及び定義は、次による。+

JDT2023(基本編)

- カーソルを用語名称の下に 移動させ、リボンの[箇条の内 容]→[用語及び定義]→[□説 明]を選択し、文章を入力しま す。
- ※改行で移動すると太字が解除 されません。この場合は、説 明部分を選択し、[強調解除] ボタンで強調箇所を解除して ください。
- (5 強調 参照)
- 6) 用語に対する注釈

カーソルを用語説明の下に移 動させ、リボンの[箇条の内 容]→[用語及び定義]→[注釈] を選択し,文章を入力します。

※自動で「注釈 1」の文字とタ ブ文字が展開されますのでタ ブ文字の後ろに注釈の内容を 記載してください。

22

24 1

※入力の規則につきましては、 "JIS Z 8301:2019(「用語及び 定義」)"及び"JIS 原案作成 のための手引"を参照してく ださい。



この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

3.1+/

容積表準質量含水率(moisture content mass by volume) → 応爆した(材料の容積に対する蒸発可能な水分量の割合→ 注釈1→→ 4 細別

細別の入力は,次の手順で行います。基本的な操作は「2 箇条・細分箇条」と同様です。 ※ここでは,既に規格票の内容が記載されている段落に対し細別を設定する方法を例に説明します。

用語及び定義 🗸 側線 🗸

□□□a)の段落

□□□□1)の段落

数式▼

□段落

a)

 $\Box 1)$

5.5●●● 細別符号▼

E.

6 4 2

デザイン

...

4...

 細別を発生させたい場所に カーソルを置き,リボンの[箇 条の内容]→[細別符号]→[a)] を選択します。

段落の先頭に「a)」の文字列と タブ文字が自動で設定されます。

 レベルを下げた細別を設定 する場合も同様に,発生させ たい場所にカーソルを置き, リボンの[箇条の内容]→[細別 符号]→[□1)]を選択します。 ここでは複数行に対し細別を 設定する方法を説明します。

デザイ	2	レイアウト	差し込み文書	校閲	表示	r Foxi	t PDF	Qj≢
•••		用語及び定義	義▼ 側線▼		₩ *	箇条変換	文書構	誠▼
4••	•	□段落	注記·注·例	·注釈▼	表▼	細別変換	ひな形	文書▼
.5.5•	••	細別符号 -	数式 ▼			下線/側線	!▼ 引用規	格下
,	E.	a)		E.	図表「3			£
6	4 2		∃a)の段落	10 12	14 16	18 20	22 24	26
		□1)		む用語	及び定義	長は, 次に	よる。+	
			□□1)の段落					
		a)→定	義は,次のよ [、]	うに,用	語と同じ)方法形式	とする。	ų
		xL==	****	×1.1 ×1	===	d		
		重刀言可	を定義するとる	きは,動	詞句を用	日いる。や		
		名詞	を定義するとき	きは,体	言止めと	≧する。↩		
		定義	の望ましい構成	むは. あ	る概念す	を含わクラ	スを明示	する
		の他の	要素と異なる料	へい。, 〜 寺性の概	念を規定	- <u></u>	54 C-914	.,



レイアウト 差し込み文書 校閲 表示 Foxit PDF

0 👔

70

2

図▼ 筃条変換 文書構成▼

下線/側線▼ 引用規格▼ |

注記·注·例·注釈 表 和別変換 ひな形文書 、

10 12 14 16 18 20 22 24 26

はな用語及び定義は、次による。↩

「「図表」。

定義は、次のように、用語と同じ方法形式とする。↩

定義の望ましい構成は、ある概念を含むクラスを明示する基

動詞を定義するときは,動詞句を用いる。↩ 名詞を定義するときは,体言止めとする。↩

の他の要素と異なる特性の概念を規定する。↩

定義の望ましい構成は、ある概念を含むクラスを明示する の他の要素と異なる特性の概念を規定する。+ 選択された複数の段落の先頭に「1)」の文字列とタブ文字が自動で設定されます。

※細別の項番は自動項番では無 く項番の形式を自動で表示し ていますので、細別を設定後 に項番を再度入力してください。

デザイン	レイアウト	差し込み文書	校閲	表示	t Foxit	PDF	0 ∄
•••	用語及び定	.義▼ 側線▼		∝ ×	箇条変換	文書構	成一
.4•••	□段落	注記·注·例·	注釈▼	表▼	細別変換	ひな形の	文書▼
.5.5 • • •	細別符号、	数式▼			下線/側線	▼ 引用規	格▼
<u>ل</u> م		箇条の内容	G.	図表「3			Ę
6 4 2	2 22	<u>1,4∟⁶ 8</u>	10 12	14 16	18 20	22 24	26
	この + + (1)→ 定 新 の他の)規格で用いる主 (義は,次のよう 動詞を定義する 名詞を定義する の望ましい構成)要素と異なる料	さな用語 うに,用 うときは うときは あ概	及び定 記 む 同 し て し し し し し し し し し し し し し	融は、次に :方法形式 :を用いる。 :めとする。 :含むクラ. :する。↩	よる。+ [,] とする。 。 + [,] 、 そ明示	-4 2j

5 強調

文章中の任意の文字を太字(強調)するには、次の手順で行います。

強調設定

- 強調したい箇所を範囲選択
 リボンの[文字スタイル]
 →[強調]を選択します。
 日本語: MS ゴシックの太字
 英数: Times New Roman の太
 字が,設定されます。
- ※Word の B ボタンを押した場合とは、フォントが指定される点で異なります。

強調設定解除

- 強調された箇所を範囲選択
 リボンの[文字スタイル]
 →[強調解除]を選択します。
 強調解除を行った文字を含む
 段落スタイルに戻ります。
- ※Word の B を押した場合とは 動作が異なります。

フ	アイル	★JDT ホーム	ホーム	挿	入 デザ	Fイン	レイアウ	ト麦	記込み文書	おおお おおお おおお おおお おうち おうち おうち おうちょう おうちょう おうちょう おうちょう おうちょう しんしょう しんしょう しんしょう しんしょう しんしょう かくしん おうしょう かくしん おうしょう かくしん おうしょう かくしん おうしょう かくしん おうしょう かくしん かくしん かくしん かくしん かくしん かくしん かくしん かくしん	表
まえ	(がき段落 ▼	Times Ne	w F × 序3	の挿入	3.3.3 • •	•	用語及	び定義、	側線▼		* 🕅
I	빌 (点線) x ² x ₂ {	10	••	4.4.4.4	••	□段落		注記·注·(列·注釈▼	表▼
10	▼ 強調] 強調解除	2.2	•••	5.5.5.5.5	•••	細別符	'号 ▼	数式▼		
	文字:	マタイル	G	箇条	の見出し	5		箇条	の内容	Gi Gi	図表「
ы		6 4	2	2 4	6 8	10	12 14	16 18	20 22	24 26	28 3
-			•						ŧź	えがき⊬	
61											
				n til t	夕) 4	き 運動 金属	·注第 14	(女)~七	いって進用。	ナン同注答	音 17 安
4			~2	_ 00,6011 (同优加	eva, 座オ 2新1)れよ	शक्रम्म। इ.स.(द्वा	はなってい 目校 (司)	休相校ら	₩₩₩ 10000000000000000000000000000000000	9 の回(4)5 发生)~例	も 12 未 F 成り お
-			-1 たり	ለጠቁም የሞታሪ	ተጠጣ ለጉዲ «ጄኔኮጠቹ	田裕道	เทษ (<u>14</u> เท ป-	本高業	曹海調本令	で空に口	FA& した 奴マ
-			20 +#~	х т .у.	、CCのH ンわいつ1	чшила С. – –	ло у л	4. 建汞1	家牛前町里で	い曲破せ	不主し。 の fetfが
-			f ë	ෙනවං	-166-0	ι» (,	J15·X·X	LXXX:0		Carly C	の税格
-				の観ね	如此, 著作	E権法?	(与辞礼会)	ました。	。ている茎	術物本事	2 4



※規格中で強調する箇所は次のとおり

- 箇条,細分箇条,注記,附属書,図及び表のそれぞれの番号,並びに細別符号のアルファベット及び 数字
- -規格番号(引用規格,参考文献など)
- -見出しとしての"注","注記","注釈","例","図","単位","附属書(規定)","附属書(参考)",
 "解説","目次","参考文献"及び"索引"の文字
- -題名の文字。ただし、注・注記・例・表の中の題名の文字は、通常、太字としない。
- -その他,特に目立たせたい文字,数字,記号

6 序文~適用範囲,引用規格について

JDT2023 では「定型情報」画面より対応国際規格の指示により序文~適用範囲の定型文を付加し対応 国際規格情報を展開し、引用規格も同様に「引用規格入力」画面で入力された内容により引用規格の定 型文を展開する機能に変更しております。

ここでは、展開される序文~適用範囲の定型文と引用規格の定型文を含めて操作方法を説明します。

≪序文~適用範囲≫

- ・序文は「定型情報」画面で
 「対応国際規格あり」と指示
 された場合のみ序文と序文に
 関する定型文を展開していま
 す。
- 適用範囲は「JIS Z 8301」 では「必要要素」と記載され ているため、「定型情報」画面 で「対応国際規格あり」を指 示されて無い場合でも、「1 適用範囲」のみ展開し適用範 囲に関する定型文は展開して いません。

本文 対応国際規格あ 対応国際規格あ 対応国際規格あり」にチェックを入れない。 ○ IDT(-致している) 国際規格番号入力 ● MOD(修正している) 詳細 ● NEQ(同等でない) 詳細 ● NEQ(同等でない) Imput-Title-here+ - 山田範囲+ ・ ・ ・ ・ ・

対応国際規格を基礎としていない場合



対応国際規格を基礎として用いた場合

≪展開される適用範囲の定型文≫

- **※** IDT (一致している) の場合
 - 注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を,次に示す。

ISO 000000:9999, Input Title here (IDT)

なお,対応の程度を表す記号 "IDT"は, **ISO/IEC Guide 21-1** に基づき, "一致している"こ とを示す。

- **※ MOD**(修正している)の場合
- 注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。
 ISO 000000:9999, Input Title here (MOD)
 なお、対応の程度を表す記号 "MOD"は、ISO/IEC Guide 21-1 に基づき、"修正している"
 ことを示す。

※ 対応国際規格が複数ある場合

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を,次に示す。

ISO 000000:9999, Input Title here

IEC 000000:9999, Input Title here

ISO/IEC 000000:9999, Input Title here (全体評価: MOD)

なお,対応の程度を表す記号 "MOD"は, ISO/IEC Guide 21-1 に基づき, "修正している" ことを示す。

NEQ(同等でない)の場合

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を,次に示す。

ISO 000000:9999, Input Title here (NEQ)

なお,対応の程度を表す記号 "NEQ"は, ISO/IEC Guide 21-1 に基づき, "同等でない"こと を示す。

※ 対応国際規格が複数ある場合

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を,次に示す。

ISO 000000:9999, Input Title here

IEC 000000:9999, Input Title here

ISO/IEC 000000:9999, Input Title here (全体評価: NEQ)

なお,対応の程度を表す記号 "NEQ"は, **ISO/IEC Guide 21-1** に基づき, "同等でない"こと を示す。

≪引用規格≫

引用規格の定型文は、以前の JDT2018 以前のテンプレートと違い、JIS Z 8301 に記載されている引用 規格に関する定型文の種類を「引用規格」画面で入力された引用規格の情報を判断し定型文を展開でき るように変更しています。

「定型情報」画面で「引用規格あり」のチェックを外すと引用規格が無い場合の定型文が生成されます。

- ・全ての引用規格に、西暦年の付記がない場合
- ・全ての引用規格に、西暦年の付記がある場合と西暦年の付記がない場合とが混在している場合
- ・全ての引用規格に西暦年の付記がある場合
- ・引用規格がない場合

≪引用規格≫

- 引用規格は「JIS Z 8301」 では「必要要素」と記載され ているため、「定型情報」画面 で「引用規格あり」を指示さ れて無い場合でも、「2 引用 規格」が展開され引用規格が 存在していない事を示す定型 文が展開されます。

「引用規格入力」」「引用規格入力」ボタンが非活性化される 他の規格を引用していない場合は、 「引用規格あり」にチェックを入れない。 していない場合は、 「引用規格本」 この規格には、引用規格はない。・ 現格票では必須要素であるため 「2 引用規格」が展開され、他の規格を引用していない場合の定型文が 展開される。

他の規格を引用していない場合



≪展開される引用規格の定型文≫

※ 全ての引用規格に,西暦年の付記がない場合

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求 事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

※ 全ての引用規格に、西暦年の付記がある場合と西暦年の付記がない場合とが混在している場合

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求 事項を構成している。これらの引用規格のうち、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用 し、その後の改正版(追補を含む。)は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版(追 補を含む。)を適用する。

※ 全ての引用規格に西暦年の付記がある場合

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求 事項を構成している。これらの引用規格は、記載の年の版を適用し、その後の改正版(追補を含む。) は適用しない。

※ 引用規格がない場合

この規格には、引用規格はない。

7 目次の作成

目次の作成を行うためには、箇条・細分箇条のスタイルが正しく当てられている必要があります。 (2 箇条・細分箇条 参照)

1) 目次を挿入する場所にカー ソルを合わせます。	カイル *JDT A-L A-L 持入 デゲ/シ L(アウ) 記込み交通 収縮 表示 Q 実行」とい作業を入力してはない 日本
2) リボンの[その他]→[文書構	
成]→[目次挿入]を選択します。	文書構成▼ 引用/参考文献/対応
	書誌情報変更
	定型情報変更
	規格番号/西暦年変更
	解説変更
	索引変更
	目次挿入
	附属書外小…
3) ダイアログが表示されます。	目次作成
目次として、箇条を何レベルま で表示するか、選択してくだ さい。	目次作成レベル 箇条 <u> </u>
箇条 2 レベル(例:1.1)が既定 値となっています。	1 箇条 ・・・・・・・・・・・・) 1.1 細分箇条 1 ・・・・・・・・・・1
[作成]ボタンを押してください。	
	(作成) キャンセル
4) 目次が作成されます。	

8 保存

- a) 名前をつけて保存
- [ファイルメニュー]→[名前 をつけて保存]を選択します。

÷

作成及び開く (JDT)

── 名前を付けて 保存

🔒 上書き保存

 2) 既定値で、規格番号と、文 書の種類が名前になっていま す。(変更可能)
 保存先を選択後、[保存]ボタン を押してください。



※JDT2023 は新の文書形式「Word 文書 (*.docx)」での保存となり ます。旧の文書形式「Word97-2003 文書 (*.doc)」及びその互換モ ードタイプで保存することはできません。 b) 上書き保存
 [ファイルメニュー]→[上書き
 保存]を選択してください。

b-1) 旧の文書形式

「Word97-2003 文書(*.doc)」 が開かれている場合,新の文 書形式「Word 文書(*.docx)」 での保存となる確認メッセー ジが表示されます。

- **b-2)** 「はい」ボタンで新の文 書形式「Word 文書(*.docx)」 で保存するため,名前を付け て保存画面が表示されます。
- **b-3)** 「名前を付けて保存画面」 で新の文書形式「Word 文書 (*.docx)」で保存します。

E	
作成及び開く (JDT)	
- 上書き保存	

文言形式	確認	×
?	開かれている文書の形式は『Word97-2003文書(*.doc)』です。 新しい文書形式『Word文書(*.docx)』でのみ保存できます。 編集内容を新しい文書形式『Word文書(*.docx)』で保存しますか? ※このJDTでは、旧文書形式(*.doc)で保存出来ません。	
	はい(Y) いいえ(N)	

※「いいえ」ボタンを押下すると、文書の保存は行われずに、文書 の編集画面へ戻りますので注意してください。

-> - 🛧 📙 > P(· • F+1X2F •	JDT売格票	~	õ	JDT現格草の検索			۶
理 - 新しいフォルダー						8::	•	(
🛃 dropbox-androis ^	名前	^	更新日時	ł	動	サイズ		
Photos	IS_X_XXXX	(_本文.docx	2017/07/26 15:24	٨	licrosoft Word		60 KB	
Public	Annuellysestysestysest							
the eventer if an								
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								
「「 スクリーンショット								
スクリーンショット								
 3. スクリーンショット 3. OneDrive 								
 ● ハスファックロート ● スクリーンショット ● OneDrive ● PC 								
 ● ハスファックロード ■ スクリーンショット ● OneDrive ■ PC ● ダウンロード 								
	XXXXX 本文.docx							
	XXXX 本文.docz]						

※表示されるファイル名は、開かれている文書ファイル名が表示さ れ、ファイル拡張子のみが新の文書形式「Word 文書 (*.docx)」 で表示されます。

「キャンセル」ボタンを押下すると、文書の保存は行われずに、 文書の編集画面へ戻りますので注意してください。

[※]ファイルの編集内容が上書き保存されます。

c) 終了時の保存の確認

終了時に,保存の確認ダイアロ グが表示されます。

⑦ 規格票文	きを保存しますか?	
· riting	:上書き保存して総	冬了する
·[1)17	:保存せるに終了る	2
・「いいえ	」:保存せずに終了す	-9
・「いいえ (thuao	」: 保存せずに終了す	3

※「はい」ボタンで文書を保存した後、文書は閉じられます。 (旧の文書形式の場合「c-1 旧の文書形式」以降を 参照してください。) 「いいえ」ボタンで編集内容が破棄され文書が閉じられます。 「キャンセル」ボタンで文書の編集画面へ戻ります。

第3章 附属書

附属書は本体に続けて作成します。 JDT2023 では、附属書のタイトルを挿入する機能があります。 ※JDT2019より附属書はA4縦に変更されています。

- 1) 附属書のタイトルを挿入し たい部分にカーソルを合わせ ます。
- 2) リボンの[文書構成]→[附属 書タイトル]を選択します。
- 3) "附属書タイトルの指示" ダ イアログが出ます。

見出し, 種類を指示し[作成]を 選択します。

4) 附属書タイトルが生成され

3行目は、タイトルを入力して

※タイトルを入力しませんと, 目次として正しく抽出できま せんので,ご注意ください。

1行目,2行目:指示内容

ます。

3行目:空白

ください。

が、挿入されます。

10 ・ 推調 推測解除 文字スタイル L ⁸ 4 2	1000 4.4.4.4 000 2.2000 5.5.5.5.5000 10 箇条の見出し ↓ [▽] 2 4 6 8 10 12	□段落 注記·注·例·注釈・ 種別符号・ 数式・ 「5	表 - 細則空換 下境/例線 - 回表 5 30 32 34 38 5	審訪情報变更 定型信報変更 規格番号/西暦年変更 解説変更
			[索引変更 日次挿入 附属書好N4
-	2+ K-XXXX: 0000 +			
ē.	5) 4) 3)			
T	2			
附属書タイトルの	D指示	×		
附属書				
● 規定	〇参考			
	1°£5%	キャンセル		
		キャンセル		
<u>ファイル</u> ★JDTホーム 附属書見止 MS ゴシック -	1 ¹ F.b.X, = 挿入 デザイン 序文の挿入 3.3.3 ● ● ●	キャンセル レイアウト 差し込み文書 名陸 用志及び定義・優議・ 1	表示 Foxit PDF 回- 微架波振 文書	♀ 操作アシスト
オノDT ホーム 防傷(音見止・ 」」(二点)(二、本)、「」、」、、、 「」」(二点)(二、本)、 「」」(二点)(二、本)、 「」」(二、本)、 「」」(二、本)、 「」」(二、本)、 「」」(二、本)、 「」」(二、本)、 「」」(二、本)、 「」」(二、本)、	<u>11年5次</u> ホーム 接入 デザイン 序文の挿入 3.3.3●●● 1.0●● 4.4.4.4●●● 2.2●● 5.5.5.5●●●	キャンセル レイアウト 差し込み文書 数器 周読及び定義・機関・ 1 四務策 注記・注:例:法訳・ 編別符号・ 数式・	表示 Foxili PDF 回・ 15条支持 文書 道助支持 154 154 下級/根線・引用 154 154	② 論作75×スト サインイ 場成 - 引用(修考支紙)対応 技業 - 定般文庫入、 総括 - レイアク)実話用
ファイル ★301 ホーム 村屋舎見止・ M 5 35-09 I ビ (市場) ** ×: ダウスタイル と 5 4 2	1 ← ム 挿入 デザイン 序文の挿入 3.3.3 ● ● 1 1 ● ● ● 4.4.4 ● ● 2 1 ● ● 5.5.5.5 ● ● 0 1 ● ● 5.5.5.5 ● ● 0 1 ● ● 5.5.5.5 ● ● 0 1 ● ● 5.5.5.5 ● ● 0	トレンセル トレンテント トレンテント トレンテント ドレンテント ドレンテン ドレンテン ドレンテン ドレンテン ドレンテン ドレンテン ドレン ド ドレン ドレン ドレン ドレン ドン ドレン ドン ・	表示 Foxil PDF 回- 新来変換 文書 素 - 細胞液態 (35) 下端/機能 - 5)用 表 5 0 12 34 28 38 4	② 操作す>スト リインイ 構成 → 引用(参考支統)対応 の な支援・支援支援入 → 総括 → レイアク)調査用 その地 0 42 44 40 24 第1
ファイル ★301 ホーム 財理番兄は・ M 5 32,00 J U(高線) メンマンクル 1 と 5 4 2	1 ← ム 換入 デザイン 序文の挿入 3.3.3 **・ 1 **・ 4.4.4.4 **・ 2.2 **・ 5.5.5.5 **・ 1 三 2 4 * 2	トレイアント 差し込み文書 乾燥 用読及び送茶・機械・ 口房痛 注記(注中)(注射)(注 編別符号・数式・ 留知(5倍) 4,20 22 34 36 38 1	表示 Foxil PDF 回- 箇条変換 文書 下編/機編 - 引用 天福/機編 - 引用 表 - 0 12 34 38 38 4	Q 操作アジスト リインイ 構成・引用(参考文紙)403 文書・主教文庫入・ 機略・レイアク)-開始用 その他 0 42 44 48 2 44 新
ファイル ★3DT ホーム 附属音見上 M S 35x9 I 単調 優遇報論 文字スタイル 1 L 8 マラスタイル 1	1' F.5 ½ ホーム 持入 デザイン F交の挿入 3.3.3 *** 1 *** 4.4.4.4*** 2.2 *** 5.5.5.5 *** 「 歴史の見出し *** 2 4 8 8 10 12 1 2 4 8 8 10 12 1 2 4 9 8 10 12 1 24		<u>表示</u> Foxit PDF 日 - 新来変換 文書 素 - 細則変換 ひな 下級(機線・引用) 表 6 12 34 28 34	② 操作アシスト・・・ サインイ 電気・ 引用/参考支紙/外応 (文書・金教文庫入、 緩絡・ レイアク)場箇用 その値 8 45 44 48 ○44 48 ○ 4 48 ○44 48 ○44 48 ○
ファイル *JDT ホーム 附属通見止 MS J209 ゴ 旦 (高橋) X* X、冬 14 強調 強調報論 文字スタイル 5 4	ボーム 接入 デザイン 厚文の挿入 3.3.3 ●● 1000 4.4.4 ●● 2.2 ●● 5.5.5.5 ●● 1000 5.5.5.5 ●● 1010 10 102 4.0 102 4.0 103 2.4 104 10 105 2.4 105 2.	レイアウト 差し込み文書 必定 用語及び定義・保護・ 日 回帰藻 注記(注:何):注訳・ 目 通帰時号・数式・ 1 1 16 16 16 16 16 16 16 20 24 26 26 16 16 16 20 22 24 26 24 財属書 A.	志示 Foxil PDF 図- 10 一 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	② 操作アSスト+++ リインイ 構成 - 引用/参考文紙/対応) (文書 - 定和文書入 - 総括 - レイアク/短詰用 その地 0 42 44 48 人相 第一
アングル *JDTホーム 防傷(音見止・ M.5 ゴンタク・ J U(読載) X* X. 24 24 24 文字スタイル 1 L 第.4 2	ボーム 挿入 デザイン 厚交の挿入 3.3.3●・ 1●●● 4.4.4.4● 2.2●●● 5.5.5.5●● 5 5.5.5.5●● 5 2.4 6 回帰の見出し 2 4 8 10 2 4 2 4 8 10 2 4 2 4 2 4 2 4 2 4 2 4 2 4 2 4 2 4 2 4 4 5 4 5 4 5 5 5 2 4 6 8 6 8 7 2	レイアウト 近辺み文書 収録 用読及び送茶・機識・ 日報 日本	表示 Foxil PDF 日 - 新来変換 文書 表 - 細刻変換 (23) 下線/機線 - 31年 表 5。 0 12 34 28 38 4	② 操作アラスト ジインイ 蜀気 ・ 3川県休考文気(外)応 ジス書・定能文課入 、 読ん: レーパワク>通送用 その他 その他 むの他 の 42 44 48 5 44 新
ファイル ★3DT ホーム 附属音見上 M S 35x92 I 単調 優調報節 文字スタイル 第二 * * * *	1 ← ム 接入 デザイン 一 序文の挿入 3.3.3*** 1 ● ● ◆ 4.4.4 2.2 ● ● 5.5.5.5 5 2 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	レイアウト 差(込み文書) 総成 (現在 (現在) 総成 (現在) 総成 (現) 総成 (現) <t< td=""><td>表示 Foxil PDF 回- 箇条変換 文書 下線(機線 引用 表。 0 12 34 38 38 4</td><td>2</td></t<>	表示 Foxil PDF 回- 箇条変換 文書 下線(機線 引用 表。 0 12 34 38 38 4	2
ファイル *JDT ホーム 附属書見止 MS J2:99 ゴ U (点線) X* X. や 14 ・ 提請 接換解除 文字スクイル 5 ・ 4 ・ 2	ボーム 接入 デザイン 厚文の挿入 3.3.3●● 1000 4.4.4.4●● 2.2●● 5.5.5.5.5●● 7 置免の見出し 7 2.4 8 10 12 4 4 8 10 10 2.4 8 10 10 2.4 8 3 8 3 9 3 9 4 9 4 9 5 9 5 10 5 10<	レイアウト 単成み文書 収録 月歳及び定美・機械・ 1 回帰藩 注記・任一・注訳・ 1 謝尚守・ 第 22 24 26 26 1 14 19 18 20 22 24 26 26 2 14 19 18 20 22 24 26 26 2 財属書A_((現定) - ジ 1 <td< td=""><td><u>表示</u> Foxit PDF 日 - 新来変換 文書 素 - 細則変換 ひな 下線(機線 - 引用 表 - 6 12 34 28 38 4</td><td>Q 操作T>Sスト サイン 環点 引用(修考支気)(300) (文書 - 定拒文導入) 総括 - レイフト)注意用 その他 6 42 44 46 人相 第二</td></td<>	<u>表示</u> Foxit PDF 日 - 新来変換 文書 素 - 細則変換 ひな 下線(機線 - 引用 表 - 6 12 34 28 38 4	Q 操作T>Sスト サイン 環点 引用(修考支気)(300) (文書 - 定拒文導入) 総括 - レイフト)注意用 その他 6 42 44 46 人相 第二
ファイル *JDTホーム 附属書見止 M.5 ゴシック・ ゴ ビ(素絵)、X*X、参 14<・登潟 強烈相談	11月5次 ム 接入 デザイン 厚交の挿入 3.3.3●● 1 1●●● 4.4.4.4●● 2.2●●● 5.5.5.5●● G 歴気の見出し G 2 4 0 8 2 5 10 12	レイアウト Eし込み文書 必然 用成及び定義・機械・ 口母葉 注記:4:47 1 口母葉 注記:4:47 1 別所号 数式・ 1 14 19 18 20 22 24 26 26 14 19 18 20 22 24 26 26 2 14 19 18 20 22 24 26 26 2 14 19 18 20 22 24 26 26 2 14 19 18 20 22 24 26 26 2 以 15 20 22 24 26 26 2	<u>表示</u> Foxit PDF 日 - 新来変換 文語 大福/機線 - 3月8 表 5 0 12 34 28 38 4	Q 操作7537h サインイ 環点・ 引用が考え気(外応) 応交書・定能文導入: 場話・レイアクト調査用 その他 0 42 44 48 <u>人</u> 種 新
ファイル ★JDT ホーム 防風音見よ MS J2592 I U (点線) ×* ×: や 14 第時 経営報節 文字スクイル 1 * * * * * * * * * * * * * * * *	ボーム 挿入 デザイン 厚文の博入 3.3.3 ● ● 1000 4.4.4.4 ● ● 2.2 ● ● 5.5.5.5.5 ● ● 2 ● <td>レイアウト 思込み文書 税は 用読及び定美・機械・ □ 母痛 税は 12 日産 税は 13 日間 税は 13 日間 税は 13 日間 税は 13 日間 税は 13 日間 税は 13 日間 税は 14 日間 税は 13 日間</td> <td>表示 Foxil PDF 回- 箇条変換 文書 下線/機線 - 引用 表。 0 12 34 38 38 4</td> <td>Q 操作アシスト リインイ 構成・引用(修考文紙)対応 文字書・主教文庫入・ 機略・レイアク)(調整用 その他 0 42 44 48 ○44 第二</td>	レイアウト 思込み文書 税は 用読及び定美・機械・ □ 母痛 税は 12 日産 税は 13 日間 税は 13 日間 税は 13 日間 税は 13 日間 税は 13 日間 税は 13 日間 税は 14 日間 税は 13 日間	表示 Foxil PDF 回- 箇条変換 文書 下線/機線 - 引用 表。 0 12 34 38 38 4	Q 操作アシスト リインイ 構成・引用(修考文紙)対応 文字書・主教文庫入・ 機略・レイアク)(調整用 その他 0 42 44 48 ○44 第二
ファイル *JDT ホーム 附属電見止 MS J2:99 ゴ U (点線) X* X. や 14 ・ 従胡 強調総論 文字スクイル 15 ・ ・ * 2	ボーム 投入 デザイン 厚文の挿入 3.3.3 ●● 1000 4.4.4.4 ●● 2.2 ●● 5.5.5.5 ●● 1000 5.5.5.5 ●● 1010 10 102 4.0 102 10 102 10 102 10 102 10 102 10 102 10 102 10 102 10 102 10 102 10 102 10 102 10	レイアウト 意(以み文書) のは 用成及び笑声、登録・ 口母葉 注記・注記・注記・注記・注記・注記・注記・注記・注記・注記・注記・注記・注記・注	表示 Foxil PDF 回・ 新祭交後 文書 下湖/後起・引用 表 5 0 32 34 38 38 4	② 操作すぶスト リインイ 環点・ 引用(参考支気)(300) ジス書・定能文挿入、 総ト レイアン決議用 その他 ⁰ 42 44 48 人相 第三 ⁰ 42 44 48 人相 第三
ファイル *JDTホーム 附属書見止 MS ゴシック・ ゴ 旦 (余裕) ×* ×、 * マンフィル * エー * エー * エー * * * * * * * * *	1 注方次 ム 接入 デザイン 序交の挿入 3.3.3●・0 1 1000 4.4.4.4 0 2.2000 5.5.5.5 0 12 4.0 8.10 12 2 4.0 8.10 12 2 4.0 8.10 12 2 4.0000 + 12	上イアウト 近込み文書 必然 用読及び定業・機械・ 口母第 法記・住用・「小」 1 口母第 法記・住用・「小」 1 国務市時・数式・ 国気の内容 1 14 19 18 20 22 24 26 26 1 14 19 18 20 22 24 26 26 1	表示 Foxil PDF 日 - 新来変換 文書 下端/機服 - 引用 表 5 0 12 34 28 58 4	健康(7)3スト サイン・4 戦点・引用(参考支援)対応 (公式書・定整文書入、 戦振・レイアク)は強用 その他 モックス)は、 マックは、 マックは、

第4章 表紙, 解説・索引の作成方法

 (ϵ)

1 表紙の作成方法

- ま紙を作成したい文書をあ らかじめ開いておきます。
 [ファイルメニュー]→[作成及び 開く(JDT)]→[表紙作成]
 を選択します。
- ※本体を開かなくても、表紙は作 成可能ですが、表紙作成のダイ アログの規格番号等を、入力す る必要が生じます
- 「表紙作成」ダイアログが開きます。
- 規格種類,規格部門,番号,西暦 年,及び規格名称(日本語), 並びに,IDT規格の場合の標準 化機関,番号,及び西暦年を必 要に応じて入力・修正し,[文 章への反映]を選択します。

 作成及び風く (DT)
 既存規格票編集
 規格関連文書作成

 ● 聞く
 □ 表紙

 ■ 全部を付けて 保存
 □ 常説

 ■ 上書を保存
 □ 索引

 ■ 聞いる
 ● 「」

格部門 番号 <u>■ ▼ X XXXX</u> 格名称(日本語)	西暦年	同一年(2改正 (西暦:	₹(ご R"を付加する	5)
ここに規格名称を入力して下さい 格名称(英語) Input Title here				
 (道福) 一致の対応国際規格番号 	追捕(Amd / Cor	>		
団体略称	・ 指示なし・ Amd.	C Amendment 1 西周 年	☐ Amendmen 西烟	nt 2 年
西暦 年	C Cor.	Corrigendum 1 西暦 年	☐ Gorrigendi 西暦	am 2 年

 表紙が展開されます。
 ※表紙は、あらかじめ開いていた 規格本体とは別のウィンドウ で開かれます。
 本体と表紙は、初めから別ファイ ルとして作成されます。



2 解説の作成方法

 解説を作成したい文書をあ らかじめ開いておきます。
 [ファイルメニュー]→[作成及び 開く(JDT)]→[解説作成]

を選択します。

- ※本体を開かなくても,解説は作 成可能ですが,解説作成のダイ アログの規格番号等を,入力す る必要が生じます。
- 「解説作成」ダイアログが開きます。
- 規格種類,規格部門,番号,西暦 年,及び規格名称(日本語), 並びに,IDT規格の場合の標準 化機関,番号,及び西暦年を必 要に応じて入力・修正し,[文 章への反映]を選択します。

3) 解説のひな形が展開されます。ひな形に記載の文に従い、 解説を作成してください。
※解説のひな形は、あらかじめ開いていた規格本体とは別のウィンドウで開かれます。
本体と解説は、初めから別ファイルとして作成されます。



XXXXX XXXX	: 0000 Г	同一年に改正(西暦4	年に" R"を付加する〉	
1格名称(日本語)				_
ここに規格名称を入力して下さい	,			
(追補)				
- - 致の対応国際規格番号				
Chilenter	」 「追補(Amd / Cor	>		
	· 作指示なし	Ameridment 1	Amendment 2	
番号	C Amd.	西周年	西周 年	
西暦 年	C Cor.	Corrigendum 1	Corrigendum 2	
		西暦 年	西暦 年	



3 索引の作成方法

- 1) 索引を作成したい文書をあ らかじめ開いておきます。
- [ファイルメニュー]→[作成及び 開く(JDT)]→[索引作成] を選択します。
- ※本体を開かなくても,索引は作 成可能ですが,索引作成のダイ アログの規格番号等を,入力す る必要が生じます。
- 「索引作成」ダイアログが開きます。
- 規格種類,規格部門,番号,西暦 年,及び規格名称(日本語), 並びに,IDT規格の場合の標準 化機関,番号,及び西暦年を必 要に応じて入力・修正し,[文 章への反映]を選択します。

- 素引のひな形が展開されます。
- ※索引のひな形は、あらかじめ開いていた規格本体とは別のウィンドウで開かれます。 本体と索引は、初めから別ファイルとして作成されます。







第5章 注意・その他

1 注意事項

○注意

JDT2023の終了時,閉じるボタン×を押して終了する場合,以下のダイアログが表示されます。

	×
を保存しますか?	0 7 +3
・ 上台を休存して#	2 2 2
	を保存しますか? :上書き保存して新 」:保存せずに終了す

このとき,[はい]を選択すると"上書き保存"を行ったあと,文書が閉じられるという動作になります が,[いいえ]を選択した場合,<u>何も行わずに</u>文書を閉じてしまいます。 データの保存が必要な場合は,必ず[はい]を選択してください。

41

2 アンインストール方法

アンインストールの手順を参考まで、次に示します。(OS が Windows 10 の場合。)

途中, P C の環境によっては, 一見作業が中断されたように見 える状態になることがあります。 しかし,作業は継続されていま すので,<u>終了まで,他の操作を</u> しないでください。

② [スタートメニュー]→
 [設定]を選択してください。

- Acrobat Reader Azure Data Studio \sim В Blend for Visual Studio 2022 Brother b-PAC3 SDK (64ビット) 8 C Cortana D D \sim E. dynabook お客様登録 ٤<u>ن</u> Ε X Excel 2016 3
- "アプリ アンインストー ル,規定値,オプションの機 能"を実行します。



 画面の右に表示される"ア プリと機能"より"JIS Draft Template 2023"を選択し、 [アンインストール]ボタンを 押してください。

- 4) 右の画面に続く、一連の動 きが完了したら、終了です。
 ※途中でユーザアカウントの制 御画面が表示された場合は、 「許可」を選択してください。
- インストール先のフォルダ が残っている場合、フォルダ を削除します。
- ※デフォルトのインストール先 フォルダは,以下の通りです。

[OS 32Bit]

C:\Program Files\JDT2023

[OS 64Bit]

C:\Program Files(x86)\JDT2023

以上で,アンインストールは 終了です。念のため,アンイン ストール後は,一度再起動をさ れた方が確実です。

÷	設定			
ඛ	ホ -L	アプ	リと機能	
19	定の検索	P	JIS Draft Template 2023	8.93 MB 2023/02/27
アブ	IJ	12	Microsoft .NET SDK 6.0.402 (x64) from Visual St	188 KB 2022/10/26
ΙĒ	アプリと機能	5	Microsoft 365 (Office) Microsoft Corporation	40.0 KB 2023/02/02
15	既定のアプリ		Microsoft Edge	2023/02/27
₫ <u></u>	オフライン マップ		Microsoft Edge Lindate	No W No W J NY NG NA I
æ	Web サイト用のアプリ		Wichson Luge Optiate	2023/02/13
□#	ビデオの再生		Microsoft Edge WebView2 Runtime	2023/02/27
₽	スタートアップ		Microsoft Help Viewer 2.3	12.1 MB 2022/04/20

このアプリとその関連情報がアンインストールさ れます。

アンインストール

3 Word の設定値について

JDT2023 を利用せず, Word の機能を使用して様式を JIS Z 8301:2019 に合わせる際の設定の注意点

- a) テンプレートのページ設定 JDT2023 では, Word のページ 設定等が, 次のように設定さ れています。 JDT2023 をご利用になる場合 は、これらの設定は必要あり ませんが, JDT2023 を利用せ ず, Word を用いて原案を作成 する場合は,次に示すページ 設定値・フォントを用いてく
- ださい。 ※余白設定から行ってください。 余白から設定しないと文字数 と行数が設定できません。

その他 文字数と行数を指定する(出) 原稿用紙の設定にする(2) 字送り(1): 10 pt 標準の字送りを使用する(A) う送り(1): 17 pt うどりッド線(1): 7ォントの設定(E) OK キャンセル その他 その他
 文字数と行数を指定する(出) 原稿用紙の設定にする(文) 字送り(D: 10 pt ま) 標準の字送りを使用する(A) う送り(T): 17 pt ま) グリッド線(W) フォントの設定(E) OK キャンセル その他
 文字数と行数を指定する(出) 原稿用紙の設定にする(次) 序総用紙の設定にする(次) 存送り(1): 10 pt ・ 標準の字送りを使用する(A) う送り(1): 17 pt ・ フォントの設定(E) OK キャンセル その他
 文字数と行数を指定する(H) 原稿用紙の設定にする(X) 字送り(J): 10 pt ・ 標準の字送りを使用する(A) テ送り(T): 17 pt ・ グリッド線(W) フォントの設定(E) OK キャンセル その他
 文字数と行数を指定する(出) 原稿用紙の設定にする(X) 字送り(D): 10 pt ・ 標準の字送りを使用する(A) テ送り(D): 17 pt ・ グリッド線(W) フォントの設定(E) OK キャンセル その他
 文字数と行数を指定する(丛) 原稿用紙の設定にする(※) 字送り(J): 10 pt ◆ 標準の字送りを使用する(A) う送り(I): 17 pt ◆ づリッド線(W) フォントの設定(E) OK キャンセル その他
字送り(J): 10 pt ま 標準の字送りを使用する(A) う送り(T): 17 pt ま グリッド線(W) フォントの設定(E) OK キャンセル その他
F送り①: 10 pt ◆ 標準の字送りを使用する(A) テ送り①: 17 pt ◆ グリッド線(W) フォントの設定(E) OK キャンセル その他
テシĔウ(①: 17 pt ま) グリッド線(W) フォントの設定(E) OK キャンセル その他
テ送り(①: 17 pt → グリッド線(W)) フォントの設定(E) OK キャンセル その他
グリッド線(₩) 〕 フォントの設定(E) OK キャンセル その他
グリッド線(₩) 7ォントの設定(E) OK キャンセル その他
OK キャンセル その他
- ? - ※ その他
その他
1
F(<u>B</u>): 28 mm 🔿
E(R): 22 mm 😝
OK (++>\tell

又子觐217题 赤日	用紙 その他
セクション	
セクションの開始位置(R)	: <u>寄数のページから開始</u> ・ (い(U)
ヘッダーとフッター	
▼ 奇数/偶数ページ別 ▼ 先頭ページのみ別指	指定(<u>0</u>) 定(<u>P</u>)
田紅山地岩小石石石を建立	ヘッダー(<u>H</u>): 16 mm 📑
HITELY MAN DUBLINE ·	フッター(<u>F</u>): 20mm 🚼
ページ	
垂直方向の配置(∨):	上寄せ
プレビュー	
プレビュー 	=1
プレビュー 	=> ▼ 〔行番号(N) 〕 罫線(B)

<フォント>

日本語:MS 明朝*

英数字: Times New Roman

通常,それぞれ10ポイントを使用。図・表の説明部分は9ポイント。

英数字は、すべて半角を用いる。

JIS Z 8301:2019 のいう,日本語の"太字"は, "MS ゴシック"*を使用する。英数字の"太字"は"ボ ールド"を使用する。

注* "MS 明朝", "MS ゴシック" はプロポーショナルタイプの "MS P 明朝", "MS P ゴシック" も あるが, 等幅の "MS 明朝", "MS ゴシック" を使用する。

4 文書ファイル内のイメージ(図)の圧縮について

文書内に設定する画像の設定の注意点

高解像度の画像を文書に貼り付けても自動的に画像が圧縮されてしまい,画質が悪くなってしまう場合があります。自動的に画像が圧縮されない様にするため Word のオプションの設定方法について説明します。

この設定は各文書毎に設定する必要がありますが,文書内に画像を設定する必要が無い場合は,設定 不要となります。

他のプログラムからの貼り付け(E):

貼り付けに Ins キーを使用する(U)

□ 復元用の編集データを破壊する(C)①
□ ファイル内のイメージを圧得しない(N)①

設定の解象度の投定(P): 220 ppi ↓

グラフ 配 JIS_X_XXXX、本文.doxx、マ
 □ グラフのテータ要素の参照先が設定されているプロパティ(E)①

□ 印刷レイアウト表示で新量の色とイメージを表示する(B)
 □ 文書ウィンドウの幅に合わせて文字列を折り返す(W)
 □ 図をイメージ科で表示する(P)
 □ 超をイメージ科で表示する(P)
 □ 揺動オプラエクトとデキストポックスを画面に表示する(D)

□ 値の代わりにフィールドコードを表示する(E) フィールドの親かけ表示(出): 選択時のみ表示する >

構成内容の表示

□ ブックマークを表示する(K)
 □ 文字列表示範囲枠を表示する(X)
 ☑ 載ちトンボを表示する(R)

☑ 貼り付け時に自動調整する(≦)◎ 設定(№)...

回を挿入/貼り付ける形式(1)

Word のオプション

基本設定

文章校正

文字体裁

リボンのユーザー設定

セキュリティセンター

クイック アクセス ツール バー

表示

保存

言語 詳細設定

アドイン

- a) Word のオプション画面を
 開き,左側の「詳細設定」を
 選択します。
- b) 右側に表示されたオプション情報の「イメージのサイズと画質」が表示される位置まで右端のスクロールバーを下に移動させます。

c) 「イメージのサイズと画質」 の下にある『□ファイル内の イメージを圧縮しない(N)』に チェックを入れます。

イメージのサイズと画質	IIS_X_XXX_本文.docx
◎ 復元用の編集データ	を破棄する(C) ①
📝 ファイル内のイメージ	を圧縮しない(N)

元の書式を保持(既定) ~

行内 🗸

☑ (テキストのみ保持) オブションで文字列を貼り付けるとさに箇条書さと段落番号を保持する(L)

□ コンテンツを貼り付けるときに [貼り付けオプション] ボタンを表示する(Q)

イメージのサイズと面質(S) 図 JIS_X_X000X_本文.docx ~

? X

ОК *\$*1772Л

貼り付けたられた図を選択し, ここに設定することも可能です。

- a) 文書内の図を選択し、右ク
 リックにより表示されるメニ
 ューより「図」又は「図の書
 式設定」を選択し「図の書式
 設定」画面を開きます。
- b) 画面左下の「圧縮(M)」ボタンを押下し「図の圧縮」画面
 を開きます。

以下の情報を個別に設定するこ とが可能です。

- ・適用の対象
- ・解像度の変更
- ・オプション

Ж	切り取り(工)
6	⊐ピー(<u>C</u>)
ô	貼り付けのオプション:
	Ĉ
	図の編集(卫)
	図として保存(5)
<u>,</u>	図表番号の挿入(<u>C</u>)
	線種とページ罫線と網かけの設定(B)
2	⊠(<u>I</u>)
es.	ハイパーリンク(日)
\$7	新しいコメント(M)

Word2010 環境の場合のみ

1の書式設定	?	×
色と線 サイズ レイアウト 図 テキストボックス 代替テキスト		
NE2グ範囲 左(L): 0 mm き 上(T): 0 mm き 右(B): 0 mm き 下(B): 0 mm き な(A - ラコントロール 色(C): 自動 明なさ(H): く > 50 % き コントラスト(N): く > 50 % き		
Œ縮(M)	Utyt	(<u>S</u>)
	1	dent

図の圧縮	?	×
適用の対象		
● 選択した図(S)		
○ ドキュメント内の	すべての図(<u>A</u>)	
解像度の変更		
〇 Web/画面(W)	
● 印刷(P)	解像度:	200 <mark>d</mark> pi
○ 変更なし(N)		
オプション		
☑ 図を圧縮する((2)	
☑ 図のトリミング部	分を削除する(E)
ОК	+ 7)	

図ツール - 書式 (リボン)より

a) 文書内の図を選択し、リボンに表示される「図ツール」
 「書式」の「図の圧縮」を
 クリックし「図の圧縮」画面を開きます。

Foxit PDF 書式 🗧 差し込み文書
 ●修整・
 「回図の圧縮

 町台・
 日のの圧縮

 町谷・
 日のの圧縮

 町谷・
 日のの圧縮

 町谷・
 日のの圧縮

 町谷・
 日のの圧縮
 図の枠線 • 🥥 図の効果・ 三 見 図のレイアウト・ 調整 図のスタイル 6 画像の圧縮 ? × 圧縮オプション: ☑ この画像だけに適用する(A) ☑ 図のトリミング部分を削除する(D) 解像度: ○ 高品質:元の画像の品質を保持(E) HD (330 ppi): 高解像度 (HD) 表示用の高品質(日) ○ 印刷用 (220 ppi)(P): ほとんどのプリンターと画面で優れた品質が得られます。 Web (150 ppi): Web ページやプロジェクターに最適(W) ○ 電子メール用 (96 ppi)(E): ドキュメントのサイズを最小限に抑え、共有に適しています。 ・既定の解像度を適用(U) OK キャンセル

<問い合わせ先>

一般財団法人 日本規格協会 JDT ヘルプデスク

E-mail jdt@jsa.or.jp